

29 車両

【関連章第7章13】

事例 「走行中のセミトレーラーから出火した火災」

出火時分 11月 10時ごろ

用途等 貨物車

被害状況 車両部分焼1台 トラクターヘッド、セミトレーラー等焼損

概要

この火災は、高速道路において走行中のトラクターヘッドのタイヤ付近から出火したものです。

出火原因は、トラクターヘッドのブレーキ系統に異常が発生し、右後輪の内側タイヤでブレーキライニングがブレーキドラムと接触を続けたため、摩擦により発熱し出火したものです。

運転手は高速道路を走行中、右側サイドミラーを確認すると、白煙のようなものが車両後方から出ているのを発見しました。しかし、排気管から煤がでていたのだろーと思いました。その後、しばらく走行していると「ボンッ」という破裂音が鳴ったため、降車し確認をすると右後輪内側付近から炎が立ち上がっているのを発見しました。

運転手は発見後、すぐに自身の携帯電話で110番通報をしています。

運転手は車両に積載している粉末消火器1本等を使用して初期消火を行いましたが、火の勢いは収まりませんでした。

教訓等

出火した車両は平成22年式で、大型貨物等を運搬するために購入したものです。使用頻度が高く、出火日も数十キロ程度の運転をしています。出火の直前まで異常は感じていませんでした。

使用頻度の多い車両は、定期的な点検はもちろんのこと、日常点検や運行前の担当者による点検等を実施し、細かな異常であっても適切な整備を行い、火災の発生を未然に防ぎましょう。



写真 29-1 車両の焼損状況



写真 29-2 右後輪の焼損状況



写真 29-3 ブレーキライニングの状況